

南西地域相談支援連絡会 取り組みの流れ

・（目的）相談支援事業所協働のチームアプローチによって、南西地域の相談支援力の向上を目指す

事例・情報共有 (ソーシャルワークレビュー)

事例検討 (ケーススタディ) 月1回～

グループ スーパービジョン 年3回～

A: ケースレビュー 1回/2W

① (事業所) 状況報告

目的

- ・事例・ケース受理状況等の共有をし、支援方針・対応方針の統一化を図る
- チームアプローチ支援、標準化された相談支援の構築

作業

- ・ケース受理状況の確認
- ・必要に応じて、100文字報告へ
- ・情報共有(気づき・発見・社会資源等)

② (ケース) 100文字報告

目的

- ・個人ケース支援状況の報告・共有

条件

- ・共有する必要性、目的が明確に伝えられる事例

方法 【1ケース 15分】

- ・100文字要約書類の作成
- ・要点を明確に報告
- ・参加者の気づきがあれば意見交換

B: コミュニティレビュー 1回/半期

目的

- ・エビデンスに基づく地域診断
- 市民が暮らしやすい地域づくりに繋げる

目的

- ・地域レビュー分析
- ・南西地域のプロフィール、社会資源の分析等

→協議会へ提言

目的

- ・事例の支援方針をチームで多面的に検討し、**見つける**

条件

- ・支援方針がわからない事例
- ・支援方針をチームで決めたい事例
- であり、**検討する理由を明確に説明できること**

作業

- ① 役割の確認
- ② 事例紹介【10分】
- ③ 人物像を共有する質問【10分】
- ④ ストレングスに関する質問【10分】
- ⑤ 今後の方向性の確認【20分】
- ⑥ 参加者の感想【全体で5分】

機能

- ・支援への**アイデア**を生み出す
- ・相談員同士の肯定と支持
- ・相談員同士の学びの機会

条件

アセスメント後、以下のような困難がある場合

- ・利用者のストレングスが見いだせない
- ・キーパーソンが見いだせない
- ・地域の社会資源が見いだせない
- ・プランの優先順位がつけられない など

作業

- ① 前回の振り返り
- ② ストレングスアセスメント(SA)を配布
- ③ 発表者: **どんなFBが必要かを伝える**【5分】
- ④ 発表者: **概略報告**【10分】
(特定の状況を提示する理由)
(うまくいかなかった試み)
- ⑤ チーム: SAを明確化させる質問【20分】
- ⑥ チーム: **アイデア発表(ブレインストーミング法)**【25分】
- ⑦ 発表者: アイデアを明確化させる質問【5分】
- ⑧ 発表者: アイデアから有益な3つを選択【5分】
- ⑨ この課題から見える地域課題を述べる

協議会へ提言 ←

←ちがい(焦点)→

・焦点は、事例そのもの

・その事例に則した理解や支援の在り方を考える。

・焦点は、パイプ(の成長)、他支援への般化

・事例はその材料

= 共通点 =

・学びから、支援を介して利用者に質の良いサービスを還元すること